

笑顔輝く せたっこ通信

令和 7 年 5 月
大津市立瀬田幼稚園

大津市では令和 7 年度から令和 11 年度の 5 年間の期間、第 4 期教育振興基本計画が示されました。その中で、基本理念として「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」があげられました。

一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育

(第 4 期教育振興基本計画 基本理念)

瀬田幼稚園の経営の力点

経験をつなぎ、未来を創る力に

今年しかできない つながる保育をつくっていかう

学ぶ力をつなげる

架け橋期につなげる

公立幼稚園のよさをつなげる

【学ぶ力をつなげる】

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期です。子どもたちが幼稚園で経験したことを遊びや生活につなげることが子どもたちの知識となり、未来を創る力につながっていくのではないかと考えます。

子どもたちは遊びをつくり出す中で、「〇〇したほうがいいんじゃない?」「〇〇したらこうなるで。」と経験したことを使っているなど感じる事がたくさんあります。

例えば、「ここの砂はさら粉（さらさらの砂）が作りやすい。」とか「ここにはダンゴムシがたくさんいる。」とか、自分が経験して知ったことを友達に伝え、教えてもらった子どもが経験をし、また誰かに伝えることで、皆がそのことを知るようになります。そして、遊んでいるときに「さら粉があるといいな。」と感じると、直ぐに取り入れていくことができ、自分たちが考えた遊びが豊かになっていきます。これが、幼稚園の遊びであり、子どもたちの学びとなっていきます。



教師が声をかけなくても、興味のあることに自然と子どもたちは集まってきます。何か見たことのない虫を発見したようで、頭を突き合わせながら「これなんやろ?」と一生懸命見えています。

3 歳児では、先生や同じ場で遊ぶ友達がしていることを見ることで「やってみたいな。」という気持ちが膨らみます。誰かがしていることを同じように真似ることで「楽しいな。」と感じ、「またやってみたい。」と思うようになります。



【架け橋期につなげる】

架け橋期とは、5歳児から小学校1年生までの2年間をいいます。

今年度、瀬田幼稚園は「学びプロジェクト研究」の指定を受けました。これは、子どもたちが幼稚園の経験や学び力を小学校へ入学してもつなげていけるよう、さらに連携を密にしていきます。今年度も5年生や小学校の先生たちと交流をしていきます。何故、5年生かというと、5歳児が1年生になったときに6年生になり、幼稚園での交流が小学校に行っても継続できるからです。子どもたちにとって知っている先生やお兄さん、お姉さんが学校にいることは大きな安心となります。

今年1年生になった瀬田幼稚園の子どもたちは、6年生ととても仲良しで、6年生は入学して直ぐに1年生の教室の様子を見に来てくれたり、昼休みに一緒に遊んだりしているそうです。保護者の方からも同じ分団ではなくても、「〇〇ちゃん。」と声をかけてもらい、とても嬉しいし安心しているという話を聞かせてもらいました。



子どもの日の集いで「金太郎」として劇に参加してくださった瀬田小学校の山崎先生。子どもたちからは「金太郎先生」と呼ばれていて、小学校に入学した瀬田幼稚園の子どもたちも顔を見て、「あっ！！金太郎先生や。」と声をかけたそうです。

毎週木曜日の小学校の昼休みに5年生7～8人ずつのグループが交流に来てくれます。昨年の経験から幼稚園の子どもたちが積極的に「一緒に遊ぼう！」と声を掛けるのですが、やや緊張気味の5年生の反応に「あれ？何か違う？」という表情の子どもたち。その様子にいち早く気付いた担任が「みんな、今日来てくれた5年生は新しい5年生で、前の5年生は6年生になったんだよ。」と紹介していました。



【公立幼稚園のよさをつなげる】

これから入園を考えておられる方に瀬田幼稚園としてだけでなく、公立幼稚園のよさを知っていただけるよう、発信をしていきたいと思っています。まずは、幼稚園の未就園親子活動に来て頂いて、子どもたちの遊んでいる様子を見てもらったり、関係機関の事業とコラボしたりしていく予定をしています。また、2歳児親子通園事業は9月より月曜日、火曜日の週2回になります。

6月24日(火)は大津市立図書館の「おはなしかたつむり」さんによる絵本の読み聞かせがあります。ご近所に対象年齢の方がおられましたら、未就園親子活動のことをお知らせいただくと有難いです。



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。